

放課後等デイサービス 夢門塾 自己評価表

記入日：	2022年12月30日
事業所名：夢門塾ゆうゆう津山	

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員と指導訓練室のスペースは適切である	3	1		器具の設置に配慮している。活動に応じて室内のスペースを確保し、活動場所を分け人数を分散させるなどの工夫もしている。
	②	職員の配置は適切である	4			コロナ対策も含め、配置をしている。
	③	衛生面の管理が行き届いている	3	1		職員全体で感染症マニュアルに基づいて実施している。来所時は、手洗い・うがい・手指消毒を必ず行っている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定を振り返り)に、広く職員が参画している	3	1		職員全体で、毎月ミーティング等を行っている。日々、業務日誌やケース記録を使い職員全体で周知し確認を行っている。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者様の意見を把握し、業務改善につなげている	4			保護者様の意見を把握し、職員全体で共有し業務改善に繋げるように努めている。
	⑥	自己評価の結果を公開している	4			実施している。
	⑦	職員の資質向上のため、会議・研修の機会を確保している	4			研修・会議等の開催を行っている。虐待防止・身体拘束・権利擁護・障がい特性の理解について・衛生管理・緊急時対応などの研修を受けている。また、ミーティング等で職員全体で共通理解し資質向上に努めている。
適切な支援の提供	⑧	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を立てている	4			相談専門員の方の計画やアセスメントを基にケアカンファを行い、保護者様のニーズを聞きながら個別支援計画を作成している。
	⑨	活動の計画をチームで行っている	3	1		ミーティング等を行い、職員全体で様々な活動計画を考案している。
	⑩	活動の計画が固定化しないよう工夫している	4			毎日ミーティングを行い、利用者様のニーズに合わせた取り組みができるように活動計画を考案し、見通しを立て活動できるように工夫している。
	⑪	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定し、支援している	4			休日、長期休暇には、平日の時間では取り組めない課題を設定し、社会性をより身につけられる内容を取り入れた支援を行っている。
	⑫	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動を計画している	2	2		子どもの状況に合わせた活動を取り入れながら、適宜組合せた活動の計画を実施している。
	⑬	支援開始前に、職員間で打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	1		ミーティング等で、各職の役割や個別の支援を共有し報連相も必ず行っている。毎日、必ず日誌を記入し職員全員が周知している。
	⑭	日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげている	4			個別記録を毎日書いている。また、その日の振り返りも行い支援の改善に繋げている。
	⑮	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	4			実行できている。
	⑯	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	4			ガイドラインを確認しながら基本活動を複数組み合わせて支援を行っている。

関係機関、保護者様との連携	⑯ 学校との情報共有(年間計画・行事予定等予定の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を行っている	4		保護者様・学校・相談支援専門員の方々と常に連絡や連携を取り、情報共有している。
	⑯ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所または学校等との情報共有と相互理解に努めている	4		訪問等を行い情報共有している。
	⑯ 学校を卒業し、放課後等イザード事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している	4		対象児童なし。
	⑯ 児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4		津山自立支援協議会子ども部会に在籍し情報共有し連携を取っている。研修等にも参加し、職員全員で情報共有し周知している。
	⑯ 日常的に子どもの状況を保護者様と連携し、発達状況や課題について共通理解を受けている	3	1	利用の様子をコドモンや送迎時にお伝えしている。また、発達状況や課題についてケース会議等を用いて共通理解を受けている。
保護者様への説明責任等	⑯ 運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4		契約時に説明を行っている。
	⑯ 保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言を行っている	3	1	送迎時、来所時、電話等で対応を行っている。
	⑯ 保護者会等を開催し、保護者同士の連携を支援している			4 コロナ感染症対策に配慮しながらの企画を考案し、保護者同士の連携を支援できるよう努める。
	⑯ 子どもや保護者様からの苦情について、対応体制を整備、周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4		子どもや保護者様からの苦情等、迅速に対応し必要に応じて相談支援専門員の方を含め対応している。
	⑯ 定期的に会報等発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信している	4		毎月、夢通信・ゆめだよりを発行している。又、ブログにて活動の様子を公開している。
非常時などの対応	⑯ 個人情報保護に十分注意している	4		契約時、個人情報の説明を行い同意書をいただいている。マニュアルに基づいて職員全員が遵守し取扱いには注意している。
	⑯ 障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	4		コドモン連絡帳等の活用。場面に応じて個別に丁寧にわかりやすく伝達するように配慮している。
	⑯ 地域の行事に参加したり、事業所に地域住民を招待する等し、地域に開かれた事業運営を行っている		4	コロナ感染症の影響により行事参加が中止となっていた。
	⑯ 緊急対応、防災、感染症マニュアルを策定し、周知している	4		マニュアルを策定し職員全員が周知徹底している。
	⑯ 非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っている	4		避難訓練等、年2回実施している。
保護者様評価、自己評価についてまとめ				
・今年度も、コロナ感染症の影響により保護者会や家族参加型の行事等の開催が困難でした。来年度は、感染症対策に配慮した企画を考案し、オンライン等も活用しながら保護者様同士の連携や情報共有ができるように努めてまいりたいと思います。障がいの有無に関わらず様々な子どもたちと活動する機会の場や社会性を広げ、活動内容等の取組みにも工夫を凝らした支援を行ってまいります。また、お子様に寄り添い安心して楽しく通っていただける環境づくりに努めます。				